

Sports Net ちば

2025年9月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2025年9月15日

「スポーツは平和とともに」
新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL <http://njsf-chiba.perma.jp>

E-mail njsf1970chiba@gmail.com

発行人 園川 峰紀

通巻 275号

2025反核平和ウォーク&ラン

船橋の戦跡を歩き行田公園でRUNRUN

朝から「あの日」を思わせる炎天下、8月3日（日）船橋市内に戦後80年を経て今も残る戦跡を辿る「千葉・反核ウォーク&ラン」を10名の参加者で行いました。

集合場所のJR船橋法典駅に行くと既に「反



核マラソン」の黄色のビブスを着けた参加者の多くが集まっていました。

今年は各方面に声かけをした結果、昨年より多い10名の参加がありました。申込自体は12名でしたが、酷暑のため体調を崩された方もいて、10名にとどまりました。また、県連盟の会員では無い2名の一般の方にも参加いただきました。

主催者からルートの説明があり当初の予定から若干遅れましたが最初の目的地「中山競馬場」に向けスタート。



「中山競馬場」は戦時中陸軍に接收され破傷風血清用の馬が多数集められ、馬から血を抜いていた歴史があることなど忘れられているかのように多数の人が行き来していました。



国旗掲揚台を指し示す園川理事長

その競馬場の裏手にある「熊野神社」の入口には日本が戦争に突

き進んだ皇紀2600年を祝う国旗掲揚台の朽ちた姿がありました。

その先には人間の犠牲になった「馬頭観音」がひっそりと佇んでいました。



次の目的地は「行田公園」。かつて海軍の無線電信所船橋送信所があったところ。およそ2kmの円の中心に「船橋無線塔記念碑」がありますが、真珠湾攻撃を命ずる「ニイタカヤマノボレー二〇八」が発信された場所として

知られています。

この公園で一旦休憩したところ思わぬ集団に遭遇。

青葉の森リレーマラソンの常連チーム「行田公園走友会」の面々。

聞けば同公園を利用して行った100kmリレー

マラソンの打ち上げB B Qとか。交流を図りつつ、公園内のジョギングコースを使って「なんちゃって反核ラン」を一部の参加者で行いました。

しばし休憩の後、最後の目的地「海軍石柱」「軍需工場跡地」に向かいました。石柱は住宅街の畑地にポツンとあり、ぼ～としてると見過ごすかもしれませんが、当時の海軍用地の広さを想像させるもの。



そして最後の目的地「日本建鐵船橋製作所」戦時中は海軍の局地戦闘機「雷電」の部品を製造していたという三菱の下請け工場です。

今はすっかり更地となり商業施設やマンションが立ち並び往時の面影はありませんが広大な敷地を眺めると当時の活況が目につくようでした。



当日の歩行距離は約5km、途中休憩・反核ランも入れて約2時間の行程でした。終了後は有志で打ち上げを行い「暑い」一日を無事終えることが出来ました。

次回は市川市の戦績巡りを企画したいと考えています。走るのはちょっとという方も是非ウォーキングでご参加ください。

涼風の勝浦で、歴史と自然を巡りませんか

ウォーキング協議会9月例会

ウォーキング協議会9月の例会は、夏でも涼しい潮風が心地よい勝浦市を歩きます。

上総一ノ宮から外房線に乗り、江戸時代に米の積み出し港として栄えた上総興津駅へ。

駅からほど近い古刹、妙覚寺で静かに歴史を感じた後、かつての港町の面影を残す興津海浜公園を目指します。

広がる青い海を眺めながら、当時の賑わいに思いを馳せましょう。

道中では、この地に伝わる悲しい恋の物語「おせん転がし」の伝説にも触れることができます。

歴史と文化、そして美しい海が織りなす興津の魅力を、涼しい気候の中、一緒に再発見しませんか。皆さまのご参加をお待ちしております。

9月30日 火曜日

8時10分 稲毛駅 改札口 集合

8時22分 千葉行き乗車

8時34分 外房線 上総一ノ宮行き

費用

稲毛 ⇒ 上総一ノ宮 (片道) 860円

上総一ノ宮 ⇒ 上総興津 (片道) 590円

昼食代

歩行距離はそれほど長くはありません。体力の無い方でも大丈夫です。

お申し込み

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

電話 043(287)7353 FAX 043(256)1454

大盛況！空手道大会、困難を乗り越えて盛会のうちに閉幕

8月11日の山の日に千葉県空手協議会主催の夏季空手大会が開催されました。



前日の荒天という悪条件にもかかわらず、本空手道大会は、幼年から社会人まで、約260名もの参加者をお迎えし、盛会のうちに無事、大会を終えることができました。

これもひとえに、参加選手の皆様、保護者の皆様、そしてご協力いただいた関係者の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。



今回から、入賞者への表彰方法を刷新し、1位から3位までの入賞者には、新たにトロフィーを授与しました。試合後の子どもたちの表情は、トロフィーを手に喜びに満ちた笑顔、さらなる高みを目指すやる気、そして惜しくも入賞を逃した悔しさなど、様々な感情で輝いていました。

その純粋な姿は、私たち運営側にとっても大きな感動を与えてくれました。

大会運営は、幸いにも大きな怪我なく終えることができましたが、皆様から寄せられたご意



見や、運営中に見つかった改善点もいくつかございます。これらを真摯に受け止め、次回の大大会に活かしていく所存です。

参加者の皆様からは「次もぜひ参加したい」という温かいお声を多数いただき、大会の開催意義を改めて強く実感しました。



空手道を通じて、多くの人々が交流し、成長する場を提供できたことを誇りに思います。

次回の大会は、2026年3月29日に開催を予定しております。今回いただいたご意見を参考に、より円滑で、さらに皆様にご満足いただけるような大会を目指し、運営体制の改善に努めてまいります。次回大会での再会を心より楽しみにしております。

試合結果は下記からご確認いただけます。

<https://njsf-chiba.perma.jp/karate/taikaikokka/2025summer.pdf>



Smokers リーグ戦3連覇!! ～～第59回千葉県軟式野球大会～～

グラウンドを渡る風が時折涼しさを感じさせる瞬間もありましたが、晴れ渡った空から振り注ぐ太陽は選手たちを鼓舞するようにギラギラと輝く中、今年度のリーグ戦決勝戦が8月17日（日）青葉の森公園野球場で開催されました。

決勝戦の対戦カードは古豪「栄町クラブZ」vsリーグ戦2連覇中の「Smokers」。リーグ戦での対戦成績は1勝1敗。くしくも最後の試合が両チームの決着を付けるべき対戦となりました。決勝戦に先立ち行われた準決勝では「Smokers」は3部リーグ1位の「放医研」と対戦。

出だしは格下とみていたのか若干荒い試合運びでしたが打線がつながり9対4で勝利。

一方「栄町クラブZ」は2部リーグ1位「闘球会」と対戦。



((左) 闘球会と (右) 栄町クラブZ

初回からホームランやタイムリーが飛び出し4対0とこちらも余裕の勝ち上がり。

午前中は曇りがちでしたが、お昼ごろから雲も取れ、高校野球真っ最中の甲子園並みにからりと晴れ上がり午後1時20分プレーボール！

Smokers は初回から塁に出るやすかさず盗塁、重盗等小技で進塁、タイムリーが飛び出し小刻

みに加点。



栄町クラブZの猛攻にも耐え5回表まで4対2と試合の主導権を握ったか

に見えたが、栄町クラブZも4回裏2点、5回裏には秀野選手の準決勝に続く2本目のホームランで1点差に追い詰める。



その後Smokersは巧みな投手交代で栄町クラブZの追撃をかわし最終回7回裏も栄町クラブZ打線を凡打に打ち取り見事リーグ戦3連覇を勝ち取った。

試合後のインタビューでSmokersキャプテン「勝因は全員がそれぞれ持てる力を発揮したからだと思います。試合前全員で絶対に優勝を勝ち取ろうという気持ちで試合に臨みました。ホームランで1点差に迫られた時も選手を信じてピッチャー交代はやりませんでした。関東大会・全国大会では千葉の力を全国に仲間に見せたいで



優勝したSmokers



すね」Smokers の結束力から今後数年間は連覇が続くかもしれません。

一方、敗れた栄町クラブZ監督「Smokersの若さに完敗です。苦しい試合展開でしたがみんなよくやってくれました。関東大会、全国大会に出場する機会もありますので何とか1勝を上げたいですね。」

準優勝の栄町クラブZ



なお最優秀選手にはSmokers：中島友貴選手。優秀選手には栄町クラブZ：秀野卓也選手がそれぞれ選ばれました。



(文責 園川)

試合結果

準決勝第1試合

チーム	1	2	3	4	5	計
放医研	0	0	4	0	0	4
Smokers	0	2	3	4	X	9

準決勝第2試合

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
闘球会	0	0	0	0	0	0	0	0
栄町クラブZ	3	1	0	0	0	0	X	4

決勝戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
Smokers	1	1	1	0	1	0	0	4
栄町クラブZ	0	0	0	2	1	0	X	3

常任理事会報告

8月21日（木）県連盟事務所において、53期第5回となる常任理事会を開催いたしました。

【活動経過】

- 7/18 スキー運営委員会
- 7/19 バレーボール全国大会予選(JFE体育館)
- 7/23 卓球運営委員会（8/16組合せ）
- 7/26～27 全国テニス協理事会・代表者会議・
全国大会会場視察（蘇我コミュニティセンター）
- 7/29 ウォーキング例会 流しそうめん
- 8/3 反核平和マラソン&ウォーク(船橋)
- 8/11 空手夏季大会（天台武道館）
- 8/16 卓球年代別全国大会予選（花島公園）
- テニス協議会開催試合 7/19,20,21,
8/2,3,11,16
- 野球協リーグ戦（7/21、8/3,10,17）

【協議関係】

- 財政中間報告
- ・ リレーマラソン会計からランニング協議会会計

に主管料の入金があり、ランニングクラブから県連盟に事務所維持費、種目別事務支援費が振り込まれた。

- ・ 会員増やリレーマラソンの成功などにより比較的余裕のある財政運営ができている一方、会費を納入できないほどきびい協議会もある。

○ スキー祭典における事故と見舞いについて

- ・ 2月に開催した千葉県スキー祭典参加者が宿泊施設内で受傷した件について、保険申請をしたところ、宿泊施設内は対象外と言われたため、県連盟とスキー協議会で保険に相当する見舞金を出すことを確認した。

大凡、7～8万円。

- ・ 全国連盟には引き受け保険会社との約款等の提示を求めている。

○ 12月に開催される検見川クロスカントリー大会について

- ・ 東京ランニングセンターから大会運営への関わり方について、どの程度の協力をしてもらえるのかという打診があった。
- ・ 先ずは、昨年度送付したの大会運営についての疑義についての回答を求めることとした。

スポーツアラカルト

スポーツの秋

秋は「スポーツの秋」と呼ばれる季節です。暑さがやわらぎ、涼しい風が吹くこの時期は、運動をするのにぴったりです。学校では体育祭やマラソン大会、地域ではスポーツイベントやレクリエーション大会が行われ、多くの人が体を動かす楽しさを感じています。

また、秋は野球やサッカーなどのプロスポーツもシーズンの終盤を迎え、優勝争いや名勝負が繰り広げられます。観るスポーツも、するスポーツも盛り上がる季節です。

さらに、スポーツを通して健康づくりにもつながります。ジョギングやウォーキング、登山やサイクリングなど、自然の中で気軽に



楽しめる運動も多く、心も体もリフレッシュできます。運動のあとに味わう秋の味覚は、また格別です。

スポーツの秋は、年齢や経験に関係なく、誰でも楽しめる季節です。

この機会に、いつもは運動をしない人も、何か新しいことにチャレンジしてみたいか、がでしょうか。

県連盟副理事（バレーボール協議会）
野村 優美



①クラブ（チーム）T S T

②代表者 岩下 哲治

③連絡先（住所・電話番号・HP等）

県連盟にお問い合わせください

④チームの概要

<名前の由来>

名前の由来はメンバーの名前（ファーストネーム）の頭文字を取りました。

岩下哲治<T(Tetsuji)>

川内信一郎<S(Shinichirou)>

菅野智光<T(Toshimitsu)>=TST



<チームの特徴>

メンバーは全員千葉県在住です。一人ひとりが卓球に対する向上心が強く、70歳を機に新スポ連（全国卓球選手権大会）全国大会に出場して好成績を収めようと、令和4年（2022年）にチームを結成しました。

<練習日程等>

決まった練習日は無く、日常は個々に様々な場所で練習しています。

ダブルスの大会があると極力メンバーでチームを組んで参加するようにしています。

<登録人数等>

3人です。

⑤クラブのアピール（2025年度の抱負等）

全国卓球選手権大会の成績です。

◇2022年（第58回）

団体戦男子70歳の部 優勝（初出場・初優勝）

個人戦男子70歳の部 第3位

◇2023年（第59回）

団体戦男子70歳の部 優勝（二連覇）

個人戦男子70歳の部 準優勝

◇2024年（第60回）

団体戦、個人戦とも予選リーグで敗退



去年は早々と敗戦が決まり、悔しい思いをしたので、今年はまた3人で力を合わせて団体戦の優勝を目指します

⑥ 新スポ連盟への希望・要望など

連盟のご努力により、全国大会予選会の他に、選手が参加しやすい大会を沢山企画して頂き感謝しています。

会員の登録も年々増えているようです。今後は年代別の個人戦なども企画して頂けると有難いです。



今回のクラブ紹介は久しぶりに卓球協加盟クラブからです。6月8日（日）四街道体育館で開催された全国大会出場権を掛けた予選会に出場。

見事70代のカテゴリーで出場権を獲得されました。チーム名も聞けば「なるほど！」と頷けるとともに古希を迎えてのチーム結成！そのバイタリティーには感服しました。

（文責 園川）

SPORTS CALENDAR

8月

8月 2日(土) テニス男子3ペアチーム対抗 青葉の森
8月 3日(日) テニス関東大会混D予選 (天台)
野球協リーグ戦 (横橋・有吉)
反核ウォーク&ラン (船橋)
8月10日(日) 野球協リーグ戦 (横橋球場)
8月11日(月・祝) テニス3ペアチーム対抗 天台B
空手協議会夏季大会 (天台武道館)
野球協リーグ戦 (天台軟式)
8月16日(土) テニス全国大会予選男女S 天台B
卓球年代別個人戦全国大会予選 (花島公園)
8月17日(日) 野球協リーグ戦 (古市場・青葉の森)
8月23日(土) テニス全国大会予選男D 天台B
8月6日(水) 4役会議 8月21日(木) 常任理事会

9月

9月 7日(日) テニス混合3ペアチーム対抗 天台A・B
9月13日(土) テニススポーツ祭典女D 天台A・B
卓球一般の部全国予選・ダブルス(オープン)
千葉ポートアリーナ
9月14日(日) テニス シニア女子350チーム対抗 天台A・B
9月15日(月祝) テニススポーツ祭典男D・女S 天台A・B
野球協リーグ戦 (天台軟式)
9月23日(火祝) テニス (女・混・男) Dペアチーム対抗
ウォーキング例会 (夷隅大東岬)
9月10日(水) 4役会議
9月18日(木) 常任理事会

北海道も暑かった ~~「温暖化」もここまで来たか?~~

ここ数年夏の北海道に出かける機会が増えました。初めて北海道の地を踏んだ10数年前、今回と同じように8月下旬に出かけた際、朝晩は長袖が無ければ肌寒さを通り越してふるふると震えることもあったほどでした。いずれも北海道南部・洞爺湖周辺や函館周辺で開催されるトライアスロン大会の審判として出かけた際の経験でした。

地球温暖化が叫ばれている昨今、北海道を含めて日本列島は連日猛暑日があちこちで記録されています。つい先日は北海道東部・北見市ではフェーン現象も手伝い40℃超えを記録したとの報道にはびっくりもしましたが、あくまでも一過性のものではないか?とっていました。

例年であれば北海道は8月下旬ともなればひんやりと旅行にも最適なシーズンと思いきや、今回滞在した8月22日から24日までは連日ピーカンの好天気!大会当日の24日はまるで関東の空気感の中での大会となりました。

参加した選手も関係者もこの異常な暑さを肌で感じていたようです。

おりしも同じ時期、関西・甲子園で開催されている全国高等学校野球選手権大会。酷暑の中での大会運営ということもあり選手・観客の健康を重視し、夕方からの開会式、午後一番暑い時間帯を避けて午前・夕方の二部制での開催、5回の攻防が終わった時点での給水タイムの導入などの暑さ対策が導入されていますが、試合の途中で足がつる選手や体調不良を訴える選手が続出。いくら若くてトレーニングを積んでいるといっても生身の人間であることには一般の人と同じ。ベスト8までの試合はせめて屋根付きの球場で行い、準決勝・決勝戦は甲子園で行う等も考えてもいいのではとの声も上がっています。

理屈抜きでこのまま暑さが続けば最悪の事態をも招かねないかもしれないと思うのは一人筆者のみではないと思います。

地球温暖化の現状を今回の北海道行で肌で感じ、今できることは何か?を考えさせられる旅でした。



理事長の独り言